

信州大学医学部附属病院 皮膚科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2020年12月8日

「爪甲色素線条の臨床画像を用いた病変アノテーションの測定」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4980
研究課題名	爪甲色素線条の臨床画像を用いた病変アノテーションの測定
所属(診療科等)	皮膚科
研究責任者(職名)	古賀弘志(講師)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2025年11月2日
研究の意義、目的	画像解析を用いた新しい爪甲色素線条の診断方法の確立のため
対象となる患者さん	2005年1月1日から2019年11月30日までに爪甲色素線条の拡大写真(ダーモスコピー写真というカメラを皮膚に密着して撮影する特殊な写真)を撮影された方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、臨床画像、病変部位、病変サイズ、など
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	記録媒体の郵送により提供します
研究方法	コンピュータなどを用いて画像解析を行い、新しい皮膚腫瘍の診断法を確立します。
共同研究機関名 (研究責任者氏名)	信州大学医学部附属病院(責任者:古賀弘志) 早稲田大学理工学術院(責任者:宗田孝之) 株式会社ヒューマンエンジニアリング(責任者:梅野清伸)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学 研究責任者:古賀弘志
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 古賀弘志・講師 電話:0263-37-2647

既存の画像や診療記録を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、共同研究機関である早稲田大学理工学術院に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表します。また将来的に医療機器等の開発に用いることがあります。しかし、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。